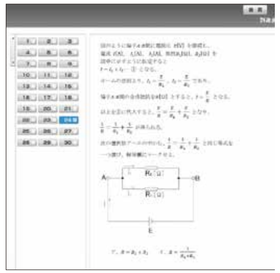
A 到達度試験による質保証

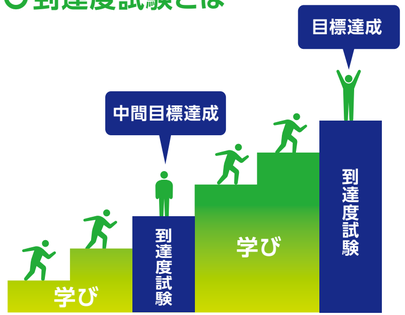
到達度試験は、MCC※が定める学習到達目標に対する「学生の到達度」だけでなく「学びの姿勢」もCBT（Computer Based Testing）により評価・検証し、「到達度を可視化」することで学生自身の到達レベルの評価と点検ならびに教員の授業改善を支援します。

※MCCとは国立高専機構が定めた分野別の到達目標（モデルコアカリキュラム（試案））のことです。

■ 試験画面(数学分野)

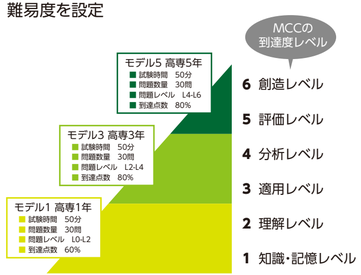


○到達度試験とは



○到達度試験の仕組み

MCCの到達度レベルに対応した問題作成
難易度を設定



■連携高専

○函館工業高等専門学校
○仙台高等専門学校
○茨城工業高等専門学校
○長野工業高等専門学校
○鳥羽商船高等専門学校
○鈴鹿工業高等専門学校
○高知工業高等専門学校

■ステークホルダー

○日本工学教育協会
○組込みシステム技術協会
○日本マイクロソフト
○長岡技術科学大学
○豊橋技術科学大学
○北海道高等学校理科研究会（函館）
○函館高専地域連携協力会

独立行政法人 国立高等専門学校機構
函館工業高等専門学校

〒042-8501 函館市戸倉町14-1
TEL：0138-59-6300　FAX：0138-59-6310
E-mail：mcc_kosen@hakodate-ct.ac.jp
（総務課 大学間連携共同教育推進事業担当係）
http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-loqa/

このパンフレットは「あなし印刷」により印刷しております。
VEGETABLE OIL INK
環境にやさしい植物油インキ「VEGETABLE OIL INK」で印刷しております。

Model-Core Curriculum for Kosen

Model-Core Curriculum for Kosen

「平成24年度　文部科学省大学間連携共同教育推進事業」選定取組

分野別到達目標に対するラーニングアウトカム評価による質保証

独立行政法人 国立高等専門学校機構
函館工業高等専門学校

分野別到達目標に対する ラーニングアウトカム評価による質保証

本事業では、学生個人の学習到達度を「質保証」する仕組みを構築します。

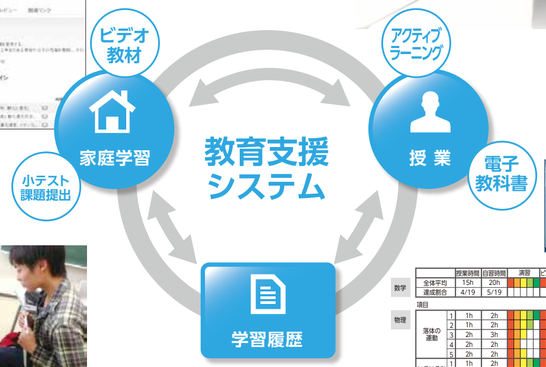
高専機構で定めた分野別の到達目標（モデルコアカリキュラム）を基準として、到達度試験によって学習到達度の評価を行い、ICT教材を活用したアクティブラーニングにより学内外での学びを支援します。そして質保証された人材を社会に対して可視化します。

到達目標

- 技術者が分野共通で備えるべき基礎能力（数学, 自然科学, 人文, 社会科学等）
- 技術者が備えるべき分野別の専門能力（機械工学, 電気電子工学等）
- 技術者が備えるべき分野横断的能力（コミュニケーションスキル, 合意形成等）

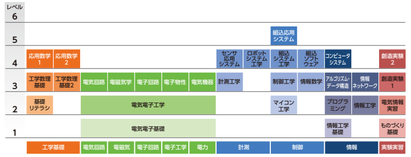
B 学びの支援

到達目標に学生が到達するために、ICT教材を活用したアクティブラーニングを学内外で行える学びの場の構築をします。



D キャリアデザイン

科目連関の可視化



科目の連関を可視化することにより、学生が学ぶステップを視覚的に確認できます。これにより、学生はキャリア実現のための科目のつながりを自ら確認できるようになります。

ナンバリングによる科目管理

ナンバリングルールを設定し、各科目情報を一元管理します。レベルや分野を利用することで、高専間の関連科目の検索が容易になります。

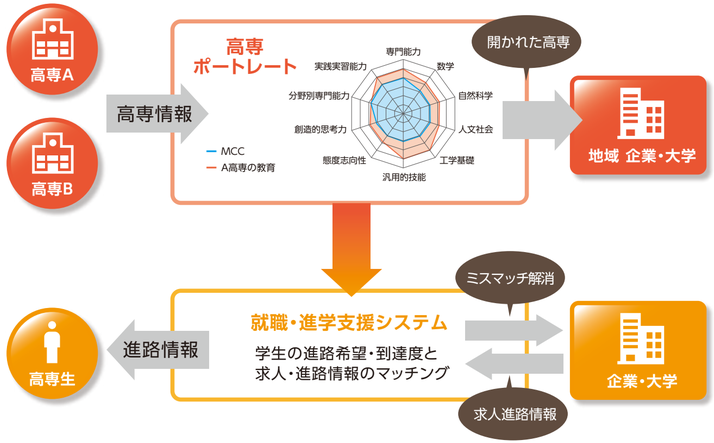
01 01 Mec 1 1 05【工作入門】

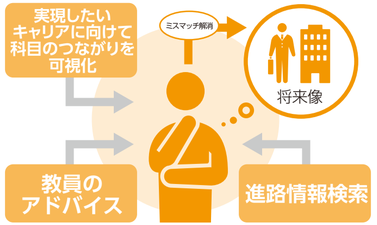
高専番号 / 学科番号 / 分野記号 / 学年 / 授業レベル / 通し番号 / 科目名

C 個性の可視化

高専が輩出する人材は、社会からどのように見られているのか、どのように繋がっていくのか、これらを明確化したものが高専ポートレートであり、就職・進学支援システムです。

高専の特色が見える!!



学科に合った進路選択

マッチングシステムを導入し、各校のカリキュラムと企業ニーズを踏まえて、就職選択のミスマッチを減らします。